

(令 3 志文) 総合問題 I

(問題部分 1～8 ページ)

注意事項

- (1) 使用できるもの：黒鉛筆・シャープペンシル・プラスチック製の消しゴム・小型鉛筆削り，時計等「受験者心得」で指示したもの。
- (2) 受験番号欄は各答案用紙の解答欄と評点欄の 2 か所，氏名欄は解答欄に 1 か所あります。受験番号は 5 けたの数字を枠内に 1 字ずつ明確に記入してください。
- (3) 受験番号および氏名を指示されたところ以外に記入した場合や受験番号の数字が判別できない場合，採点の対象になりません。
- (4) 解答は，黒鉛筆またはシャープペンシルで答案用紙の所定の枠内に明確に記入してください。
- (5) 答案用紙の裏面には何も記入してはいけません。
- (6) 答案用紙に指示された以外のことを記入しても採点の対象になりません。
- (7) 日本語で字数指定のある解答については，句読点も 1 字に数えます。2 けた以上の算用数字は，答案用紙の 1 マスに 2 けたの数字を記入し，1 字に数えます。なお，アルファベットは算用数字に準じます。

例：

「	青	か	っ	た	。	」
---	---	---	---	---	---	---

 7 字 /

20	20
----	----

 2 字 /

bo	ok
----	----

 2 字

- (8) 英語で語数指定のある解答については，句読点は 1 語に数えません。算用数字は，2 けた以上でも 1 語に数えます。

例：“She’s a student.” 3 語 / 2020 1 語

1. (配点率 52%) 次の【会話文】は、アヤカとユウキの 2 人が、探究学習の時間に、「日本食を世界に広げるにはどうすればよいか」について考え、自分たちのアイデアを提案するために、関連する【資料】を読みながら検討しているものです。【会話文】と【資料 1】～【資料 3】を読んで、問 1～問 5 に答えなさい。

【会話文】

アヤカ：私たちの班のテーマ「日本食を世界に広げるにはどうすればよいか」を考えるには、「異文化がどのように受け入れられ、広がっていくか」という「文化の受容」のプロセスについて研究することから始める必要があるそうだね。

ユウキ：そうだね。そのプロセスを知ることが、日本食を海外に広げていく具体的な案の作成につながるね。

アヤカ：では、「日本の文化が世界に広がるプロセス」について調べる前に、まず、「日本がどのように異文化を取り込んできたか」について述べられている【資料 1】について検討しましょう。

【資料 1】

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、 問題は掲載していません。

〔注〕

- ※1 コジエーヴ：フランスの哲学者。
- ※2 スノビズム：snobbism 上品ぶって、教養があるようなふりをする生活態度。
- ※3 スーパーフラット：現代美術家の村上隆が積極的に提言している美的概念。伝統的な日本画やアニメーションのセル画に共通して見られる、遠近法的な知覚を拒むなどの造形上の特徴を抽出している。

【会話文】

アヤカ：【資料1】の下線部(1)「無化のプロセス」が、日本が異文化を取り込んできたプロセスだよな。

ユウキ：そうだね。具体的に言うと、アのことだね。

アヤカ：そうだね。このプロセスを経て、異文化の日本への移入が無理なく行われ、現代の日本文化へとつながっているということだね。下線部(2)「真に日本的な強さをあらわしているのは、京都や鎌倉ではなく東京である。」とあるけど、なぜ「東京」なのかな？

ユウキ：それは、ここで言われている「日本的な強さ」の意味を考えると、イということじゃないかな。

アヤカ：なるほど。単に伝統的な文化の象徴的な場所ではないということだね。それにしても、アニメの主人公のルパン三世が日本的だという考えは、とても面白い考えね。

ユウキ：本当だね。では、次に「日本文化が世界にどのように受け入れられ広がっているかについて述べられている【資料2】を見てみよう。

【資料2】

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

【会話文】

アヤカ：【資料1】と【資料2】の内容には、「文化の受容」のプロセスに関して、共通している点が見えてくるよね。

ユウキ：そうだね。日本が異文化を取りこむプロセスも、日本文化が世界で受容されるプロセスも当然といえば当然のことだけど、共通しているんだね。

アヤカ：ところで、【資料2】の下線部(3)「文化はすべて独自性、固有性を標榜しながら『複合』という出生の秘密をもっている。」という表現の意味がよくわからないんだけど、説明してくれる？

ユウキ：それは、ウということじゃないかな。

アヤカ：なるほど。よくわかったわ。この【資料2】を読むと、日本の文化である「柔道」が「ジュードー」として世界に通用する国際スポーツに変身していった理由もわかった気がするわ。これって、文化が広がるうえで、重要なポイントだと思うわ。

ユウキ：同感だよ。では、次に、日本食の海外進出に関して気になる新聞記事の【資料3】を見つけたんだけど、内容を検討してみようよ。

【資料3】

著作権保護の観点から、
問題は掲載していません。

【会話文】

ユウキ：この【資料3】の下線部(4)「世界統一の基準づくりは見送った」という判断についてどう思う？

アヤカ：これまでの、【資料1】【資料2】の論旨からすると、この判断は妥当だと思うわ。なぜなら、と言えるから。

ユウキ：うん。僕も同じ考えだよ。

アヤカ：これらの【資料】は、私たちの探究にとっても重要なことを示してくれているよね。これらを参考に、私たちのテーマについてもっと深く考えていきましょう。

ユウキ：そうだね。今後、「マクドナルドのハンバーガーがどうやって世界に広がったか」やそれに対抗するようにイタリアで起きた「スローフード運動」なども、日本食が世界に広がる案を考えるためには参考になると思うので、調べてみたいと思っているんだ。

アヤカ：それは面白そうね。頑張りましょう。

問1 【資料1】～【資料3】の下線部(a)～(e)のカタカナを漢字に改めなさい。

問2 空欄には、下線部(1)「無化のプロセス」の具体的な説明が入ります。【資料1】の本文に基づいて、その説明を65字以内で答えなさい。

問3 空欄には、下線部(2)「真に日本的な強さをあらわしているのは、京都や鎌倉ではなく東京である」理由が入ります。「日本的な強さ」および「京都や鎌倉と東京の違い」について説明したうえで、その理由を110字以内で答えなさい。

問4 空欄には、下線部(3)の「文化はすべて独自性、固有性を標榜しながら『複合』という出生の秘密をもっている。」を分かりやすく説明した文が入ります。【資料2】を参考にして、その説明を65字以内で答えなさい。

問5 空欄には、下線部(4)の「世界統一の基準づくりは見送った」ことが、妥当であるとアヤカさんが判断した理由が入ります。【資料1】・【資料2】の論旨に基づいて、その理由を、具体的に170字以内で答えなさい。

※問2～問5の解答は、空欄の後に続くように、適切な文末表現で書くこと。

2. (配点率 16%) k を実数とします。 $y = f(x)$, $y = g(x)$ はいずれも 2 次関数で, $f(x)$ は $x = -2$ で最小値 $-k$ をとり, $g(x)$ は $x = 4$ で最大値 $2k$ をとるとします。

$f(x) + g(x) = -x^2 + 20x - 22$ のとき, 次の問に答えなさい。

問 1 関数 $f(x)$, $g(x)$ と k の値をそれぞれ求めなさい。

問 2 直線 l が, $y = f(x)$ のグラフと $y = g(x)$ のグラフの両方と接するとき, 直線 l の方程式を求めなさい。

3. (配点率 16%) a を実数とします。放物線 $C: y = 1 - x^2$ 上の点 $A(a, 1 - a^2)$ における接線を l とします。点 A を通り、直線 l と直交する直線と x 軸の交点の x 座標を t とします。次の問に答えなさい。

問1 直線 l の方程式を a を用いて表しなさい。

問2 t を a を用いて表しなさい。

問3 $-\frac{1}{2} \leq a \leq \frac{1}{2}$ における、 t の最大値と最小値を求めなさい。

4. (配点率 16%) A, B 2つの袋にそれぞれ玉が入っています。袋 A の中をよくかき混ぜてから 1 個の玉を取り出して袋 B に入れ, よくかき混ぜて, 袋 B から 1 個の玉を取り出して袋 A に入れることを 1 回の試行とします。次の問に答えなさい。

問 1 最初に袋 A に赤玉 2 個白玉 1 個, 袋 B に赤玉 1 個白玉 2 個が入っているとき, 1 回の試行で, 袋 A に赤玉 1 個白玉 2 個入っている確率を求めなさい。

問 2 最初に袋 A に赤玉 3 個, 袋 B に白玉 3 個が入っているとき, 2 回の試行で, 袋 A に赤玉 2 個白玉 1 個入っている確率を求めなさい。

問 3 最初に袋 A に赤玉 3 個, 袋 B に白玉 3 個が入っているとき, 3 回の試行で, 袋 A に赤玉 1 個白玉 2 個入っている確率を求めなさい。

問題は以上